

「杉森家住宅」が国登録有形文化財に登録

山内町にある「杉森家住宅」が国登録有形文化財（建造物）に登録され、11月19日（木）告示されました。杉森家住宅は当時の医業、薬業の状況や屋敷構えを知る上で重要な建造物であることが評価されました。

杉森家住宅の主屋は明治24年に増改築され、洋風の外観で明治時代の診療所のたたずまいを残しています。

武雄市では今回の杉森家住宅を含め、国登録有形文化財（建造物）は3ヶ所、5件となりました。



▲二階門は主屋の増改築と同時に新築され、両側の大きな家紋や通路の高い天井など独特のデザインになっています。

「武雄邑主鍋島氏別邸庭園」国登録記念物に答申

県内初の登録記念物に！

国の文化審議会は、11月20日（金）武雄町にある旧武雄邑主鍋島氏別邸庭園（御船山楽園）を登録記念物にするよう文部科学大臣に答申しました。

この庭園は、弘化2年に武雄邑主鍋島茂義が京都から絵師を招いて造園されました。池泉庭園を基礎とし、明治末年以降にサクラやツツジが植えられることにより、遊覧の名所として発展しました。

正式に登録されれば、佐賀県内初の登録記念物になります。

【文化財などに関するお問い合わせ】教育委員会 文化・学習課 ☎(23)5166



老人趣味の作品展

～106作品が人々を魅了させる～

11月28日（日）～11月30日（月）まで武雄市老人趣味の作品展が行われました。書・手芸・工芸・絵画・写真・陶芸など高齢者の皆さんの力作全106点が展示されました。

30日は、優秀作品の表彰が行われ、次の方々が受賞されました。

●受賞者の紹介

武雄市長賞（絵画・写真部門）金丸榮子さん
武雄市議会議長賞（書部門）山崎文次さん

武雄市社会福祉協議会長賞（手芸・工芸部門）橘町西部老人クラブ手芸部
武雄市老人クラブ連合会長賞（陶芸・彫刻部門）山本順巳さん



武雄温泉駅高架完成を祝う

12月5日（土）、武雄温泉駅で高架の完成記念式典が行われました。

これまで高架事業を進めてきた「高架促進期成会」馬渡洋三会長をはじめ市内外関係者180人が一同に集まり、高架完成を祝いました。

5日（土）、6日（日）には完成を記念し、がばい武雄の物産まつりや第9回全日本美味暮まんじゅう選手権大会（大人の部）が開催され、たくさんの来場者で賑わいました。



武雄温泉駅高架完成記念式典の様子



手作りの「しめ縄」で新年を迎えます

12月11日（金）、若木公民館で若木小学校5年生16名が「しめ縄」作りにチャレンジしました。

講師は、原口さんほか4名の地元のみなさん。子どもたちは、初めてのしめ縄作りに真剣に取り組んでいました。「お正月に自分で作ったしめ縄を家の玄関に飾ります。」と完成したしめ縄をみて喜んでいました。

